


平成 29 年度国立天文台研究集会開催報告書

平成 29 年 7 月 6 日

国立天文台長 殿

代表者	氏 名	(ふりがな) たなかまさゆき 田中賢幸 
	所属・職	ハワイ観測所 特任助教
研究集会名	第4回銀河進化研究会	
開催期間	2017年6月7日 ~ 2017年6月9日	
開催場所	大阪大学 南部陽一郎ホール	
参加人数	97名	
研究集会の概要	<p>本研究集会は、銀河コミュニティにおける継続的な研究成果発表の場であり、かつ今後を見据えた議論を行う場として始められた、銀河進化研究会の第4回研究集会である。第3回研究集会から参加者が約100名となるような、大きな研究会へと成長し、着実にモーメントのついた研究会となっている。</p> <p>銀河進化研究会は主に若手主体の研究会として育ちつつあり、各自が思う存分に研究発表し、他の参加者との議論により研究を更に発展させることが、一つの大きな目的となっている。実際にそういった議論の場としての雰囲気醸成できつつあり、今後を担う若手がここから育っていくことを大いに期待している。また、本研究集会はコミュニティの進む先を継続的に議論するための場でもあり、日進月歩を続けるこの分野で戦略的に研究するための議論の時間を確保している。</p> <p>銀河サイエンスは非常に幅の広い分野であるが、特に分野を限定せずに講演を募集している。また、いつもと同じ人が同じ話をするのを避けるため、一般セッションでの招待講演は行わない。ただし、毎回ある程度トピックを絞ったフォーカスセッションを用意しており、今回のテーマは「ガスの物理」であった。近年、様々な物理状態にあるガスの物理が、ALMA や吸収線天体から注目されており、それらを包括的に議論することを目的に、観測・理論から3名の方に基調講演をしていただいた。</p> <p>さらに、来年打ち上がる JWST のプロポーザル準備をテーマとした議論のセッションを設けた。日本は残念ながら JWST collaboration に入っていないため、一般プロポーザルを通して観測時間を獲得する必要がある。なかなか国内では JWST の情報が入ってきにくいので、基調講演者に広くレビューをしてもらい、今後のプロポーザル準備を各自で進められるような下準備を行った。</p>	

<p>研究集会の成果</p>	<p>今回も約 100 名の方の参加があり、盛況であった。口頭発表が 34 件、ポスター発表が 26 件と参加者の実に 6 割が発表している。講演内容も、銀河系内の小・中間質量ブラックホールから超遠方銀河までと非常に幅広く、研究会の趣旨がきちんと反映されていると言える。</p> <p>毎回気をつけていることではあるが、発言や質問はマイクを用いず発表途中でも自由に行うことを奨励することで、活発な議論がなされた。第一回、二回では発言するのが主にシニアの人たちだったのが気になっていたが、前回からは若手の発言も増え、今回にいたってはほとんどが若手の方々からの発言だった。これは、議論主体という雰囲気が醸成された証拠であり、本研究会の大きな成功と言えるだろう。</p> <p>「ガスの物理」と銘打ったフォーカスセッションでは、様々な波長・視点からの銀河内外のガスに関する発表があり、本研究会の特徴である、銀河を多角的に捉えることができたセッションであった。しかしながら、観測からこういう情報が欲しい、理論からこういう情報が欲しい、といった意見があまり出てこなかったのは反省すべき点である。これは事前に各発表者に考えてもらうように依頼すべきであった。ただそれ以外は、少々議論が細かい点に集中してしまった感はあるが、活発な議論がなされ、各自の研究へと反映することのできるセッションであったと思う。</p> <p>JWSTプロポーザル準備の議論セッションは、基調講演者に非常にわかりやすいレビューをしていただき、参加者に大いに役に立ったのではないかと思う。JWSTと密接に関わっている STScI から人を招いて講演してもらうことを企画していたが、実現できなかったのは残念である。また、もともとはコミュニティを挙げたプロポーザルのアイデア等を模索することを期待していたが、研究会の一番最後のセッションになっていたため、なかなかそういった大掛かりな議論には発展しなかった。議論のセッションは最後に置いてはいけない、という教訓が得られた。</p> <p>本研究会は継続的な研究会のため、毎回最後に参加者全員で反省会を行い、次回以降改善するように心がけている。今回の一番大きな点は、次回以降は英語での講演を推奨していくという点で、一長一短はあるが若手研究者のレベルアップを図る次の一手として試みたいと思っている。</p>
<p>その他参考 となる事項 (希望事項も 含む)</p>	<p>研究会ホームページ http://member.ipmu.jp/kiyoto.yabe/gev2017/index.html</p>